

# Weekly Report

(2015年6月第1週)

光世証券株式会社

## 株式市場概況

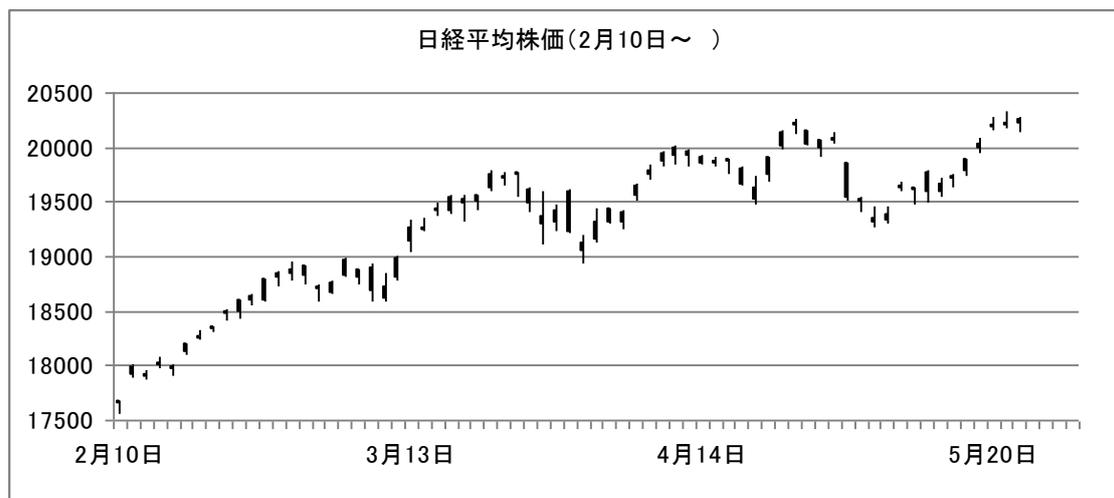
### ● 先週(5/25 - 5/29)の動き

為替市場で円安が進み、円は1ドル=124円近辺まで下落した。日本の株式市場では円安を好感し、輸出関連銘柄への買いが目立った。

円安の要因は、主要な米国の経済指標が予想を上回ったことや、イエレン FRB 議長が利上げは年内に行うとの発言をしたこと、日本の貿易収支が予想よりも幅は小さかったものの赤字に転じたことなどが挙げられる。

日経平均株価は強い展開が継続し、前週末比+1.47%の2万563円で一週間の取引を終えた。

ここ最近、大幅上昇を見せていた中国株だが、週末に急落し、金曜日には上海取引所指数が直近高値から約10%調整する場面があった。しかしその後は反転し、金曜日の寄り付き後は一時、前日比で4%以上の下落を見せていた指数は、前日比プラス圏まで戻し、逆に底堅さが感じられる展開となった。



セクター動向ではゴム、空運、鉄鋼など株価収益率の割安なセクターが買われた。下落トップはUSJが再上場する見通しから、同業で指数寄与度の高いオリエンタルランドが売られた、サービスとなった。その他では証券、不動産と相場と共に上昇が大きくなりそうな2つも下落した。

スタイル・インデックスではバリューと TOPIX30 が上昇トップで並んだ。前週に引き続き、小型株や REIT は小幅な上昇に留まった。

表1. セクター、スタイル・インデックス動向

セクター動向(先週末比)		各種国内株式指数動向(先週末比)					
ゴム製品	5.72%	サービス業	-1.55%	TOPIXバリュー	2.04%	ミッド400	1.04%
空運	5.69%	証券商品先物	-0.88%	コア30	2.04%	TOPIXスモール	0.99%
鉄鋼	4.87%	不動産業	-0.75%	TOPIXL70	1.74%	マザーズ	0.31%
電気ガス	4.32%	陸運	-0.67%	TOPIX	1.57%	東証2部	0.25%
銀行業	3.39%	医薬品	-0.67%	日経平均株価	1.47%	REIT指数	0.05%
輸送用機器	3.33%	食料品	-0.56%	TOPIXグロース	1.07%		

## 今後の注目材料

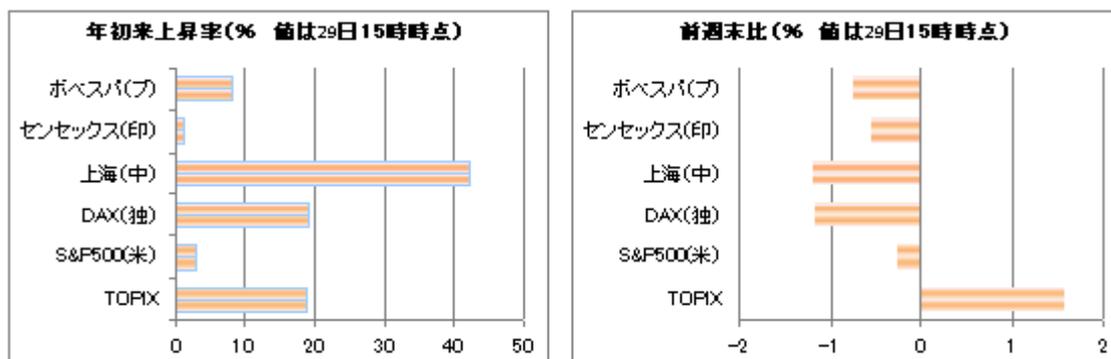
世界の経済指標は今一つの状態がどの地域でも続いている。しかし、そのことが逆に中央銀行の緩和的金融政策の継続を期待させ、株式市場は底堅い動きとなっている。日本でも株価は堅調で、日経平均株価が2万円を超えたり、東証一部の時価総額がこれまでの最高水準を更新するなど、ニュースとなることが増え始めている。バブル越えと聞くと少し怪訝な顔をされる人もいるかもしれないが、現在の株価水準は企業収益の改善もあり、株価収益率から見ても適正な水準といえる。

投資主体別の動向に目をやると、個人投資家の売り越しは依然として継続している。勿論押し目を買う動きもあるが、現物株は今年に入り、3兆7,000億円とかなりの高水準の売り越しとなっている。そうした資金が支出に回っているのかというと、そうでもなく、支出関連の指標は悪いままである。

おそらく、そうした資金は次に株を買うため、MRFなどに入っているのだろう。MRFの残高は11兆円を超える水準にある。そろそろそのような待機資金が下落を待ちきれずに動き始める時期かもしれない。

## 資料

### 各国の株価動向



### 株式市場需給動向(5月18日~5月22日分)

	現物(億円)	先物(億円)	差引(億円)
自己	2827.12	-1683.31	1143.81
委託	-2572.36	1748.90	-823.46
自己・委託合計	254.76	65.59	320.35
法人	-548.41	-2804.78	-3353.20
個人	-5849.58	-1335.45	-7185.02
海外投資家	4260.38	6045.87	10306.25
証券会社	-434.75	-156.74	-591.49
投資信託	-79.15	-3514.91	-3594.06
事業法人	476.77	-22.79	453.98
その他法人	-32.38	-17.66	-50.04
金融	-913.66	750.58	-163.08
生保・損保	-54.01	-60.77	-114.78
都銀・地銀	-160.21	56.37	-103.83
信託銀行	-618.92	747.97	129.05
その他金融機関	-80.52	7.01	-73.51

(値はブルームバーグによる)

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第14号 加入協会／日本証券業協会